
第 33 報 2019 年 9 月 17 日

平成 28 年熊本地震 災害復旧資材供給情報

復旧・復興工事に関わる 建設資材等の需給動向



一般財団法人 経済調査会

平成 28 年熊本地震により被災されました方々に、心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲となられた方々のご遺族の皆様に対し、深くお悔やみ申し上げます。

熊本県内の復旧・復興工事に関わる主要建設資材等の価格および供給情報について、2019年9月13日までに収集した情報をもとに取りまとめましたので、お知らせいたします。

調査にご協力頂きました関係各位に感謝申し上げますとともに、当資材供給情報が被災地の復興に向けた一助となれば幸いです。

※災害復旧資材の供給情報提供窓口 <https://www.zai-keicho.or.jp/fukkyu/>

【問い合わせ先】

一般財団法人 経済調査会 土木第一部

TEL : 03-5777-8215 FAX : 03-5777-8230

【生コンクリート】

（熊本地区）

熊本地区の8月の出荷量は5万9,272m³と前年同月比9.1%減（熊本県生コンクリート工業組合調べ）。熊本駅前の再開発等大型民需もあり、今後も需要は堅調に推移する見通し。一方、アジテーター車が不足しており、需給はややひっ迫している。

価格は、建築標準物21-18-20でm³当たり1万5,500円どころを横ばいで推移している。熊本地区生コン協組では、原材料および、輸送コストの高騰を背景に、4月1日契約分より、昨年度、未浸透であった1,000円の値上げを改めて表明し、需要者側と交渉を行っている。目先、横ばいで推移する見通し。

（阿蘇地区）

阿蘇地区の8月の出荷量は1万5,867m³と前年同月比22.9%減（熊本県生コンクリート工業組合調べ）。大型物件向けの出荷は一服感が出ており対前年割れの状況が続く見通し。ただ、震災復興関連工事向け需要は依然として続いており、今後も例年以上の出荷は見込まれている。

価格は、建築標準物21-18-20でm³当たり1万9,300円どころを横ばいで推移している。阿蘇地区生コン協組では、強固な共販体制を背景に現行価格の維持に注力している。先行き、横ばいで推移する見通し。

【再生クラッシュラン】

（熊本地区・阿蘇地区）

価格は再生クラッシュラン40～0mmが熊本地区でm³当たり2,000円、阿蘇地区で3,350円どころ。

熊本地区では震災復興関連工事に伴う路盤材需要は増加傾向にあるが、益城、御船等の一部の地区に限定されており、需給のひっ迫感はみられない。販売側も現行価格の維持に注力しており、先行き、横ばいで推移する見通し。

阿蘇地区でも、震災復興に伴う道路工事向けの出荷が旺盛。地区内でのガラ不足が慢性化するなか、数量が多い現場では遠方からの持ち込みもみられ、需給はややひっ迫している。販売側は設備更新費や輸送コストの一段高等を背景に売り腰を引き締め、現行価格の維持に注力している。先行き、横ばいで推移する見通し。

【アスファルト混合物】

（熊本地区・阿蘇地区）

熊本県下の7月の製造数量は5万5,955tと前年同月比約11.8%の減少（日本アスファルト合材協会調べ）。大型物件に乏しく、熊本市中心部の需要は精彩を欠いており、対前年割れの状況が続いている。

価格は再生密粒度(13)が熊本地区で前月比t当たり300円下落し、10,700円どころ。阿蘇地区は前月比変わらずt当たり12,200円どころを横ばいで推移している。

熊本地区においては需要が減少するなか、価格よりも数量を重視する傾向が顕在化し市況が下落。販売側としては下期の需要期に向け価格の引き締めを図っている。先行き、横ばいの見通し。

阿蘇地区においては、震災復興需要も依然続いており、販売側は売り腰を引き締め現行価格の維持に注力しており、先行き横ばいの見通し。

熊本地震 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品（地場資材）

【2019年9月13日 現在】

資材名 [掲載頁]	地区名	熊本地震以降の直近変動 (月号・額) ※2016年4月号 以降の変動		単位	価 格 (円)	前月比	現在の需給	先行き	
								需給	価格見通し
生コンクリート 建築標準物 (21-18-20) [132]	熊本	—	(変動なし)	m3	15,500	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	2017年 7月号	2,000円上伸	m3	19,300	変わらず	均衡	均衡	横ばい
コンクリート用 砂 荒目(洗い) [193]	熊本	2017年 12月号	250円上伸	m3	3,350	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	2017年 12月号	200円上伸	m3	4,100	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
コンクリート用 砕石 20～5mm [193]	熊本	2018年 2月号	200円上伸	m3	3,400	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	2018年 2月号	300円上伸	m3	3,900	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
再生 クラッシュラン 40～0mm [193]	熊本	—	(変動なし)	m3	2,000	変わらず	均衡	均衡	横ばい
	阿蘇	2019年 9月号	150円上伸	m3	3,350	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
アスファルト 混合物 再生密粒度 (13) [326]	熊本	2019年 10月号	300円下落	t	10,700	下落	均衡	均衡	横ばい
	阿蘇	—	(変動なし)	t	12,200	変わらず	均衡	均衡	横ばい

【特記】 需給動向は供給者側に確認し、直近1～2か月前と比較した結果である。

熊本地震 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品（一般資材）

【2019年9月13日 現在】

資材名 [掲載頁]	地区名	市場動向・概況	現在の需給	先行き	
				需給	価格見通し
鋼材 異形棒鋼 [24]	熊本	価格は、SD295A・D16でt当たり6万9,000円と前月比横ばい。主原料の鉄屑価格の下落により市場には先安観が広がっているが、メーカー側は現行販売価格の維持に注力している。鉄屑価格は引き続き下落基調との見方が強く、需要者側の指し値は厳しさを増すことが予想される。先行き、弱含みの見通し。	やや緩和	やや緩和	弱含み
型枠材 コンクリート型枠用合板 [217]	熊本	価格は、無塗装品ラワン、12×900×1800mmで枚当たり1,390円と前月比横ばい。過剰在庫の懸念から輸入量が減少し、市場でも購入者側は当用買いの姿勢が見受けられるなど需要は盛り上がりを見せている。販売側では現行価格水準維持に努めており、目先、横ばいで推移の見通し。	やや緩和	やや緩和	横ばい
仮設鋼材賃貸料金 鋼矢板・H形鋼 鋼製山留材 ・鋼製覆工板・敷鉄板 [286～292]	熊本	不需求期といわれる夏場でも、稼働率は引き続き高い水準にあり、需給はこの先もタイトな状況が続くとみられる。 賃貸業者は値上げの意向を示しているが、需要者からの指値は厳しく、値上げ浸透には時間を要する見通し。先行き、横ばいで推移する公算が大きい。	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい

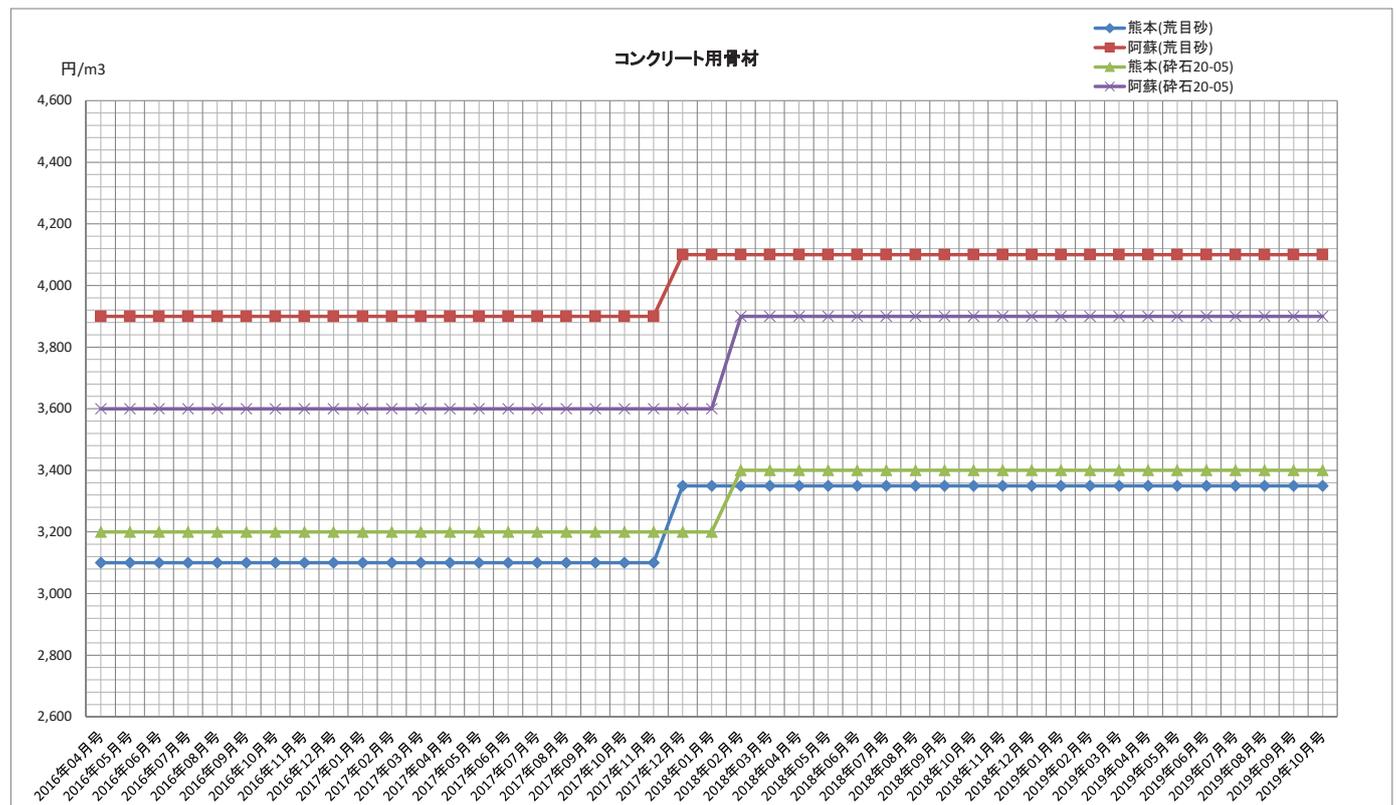
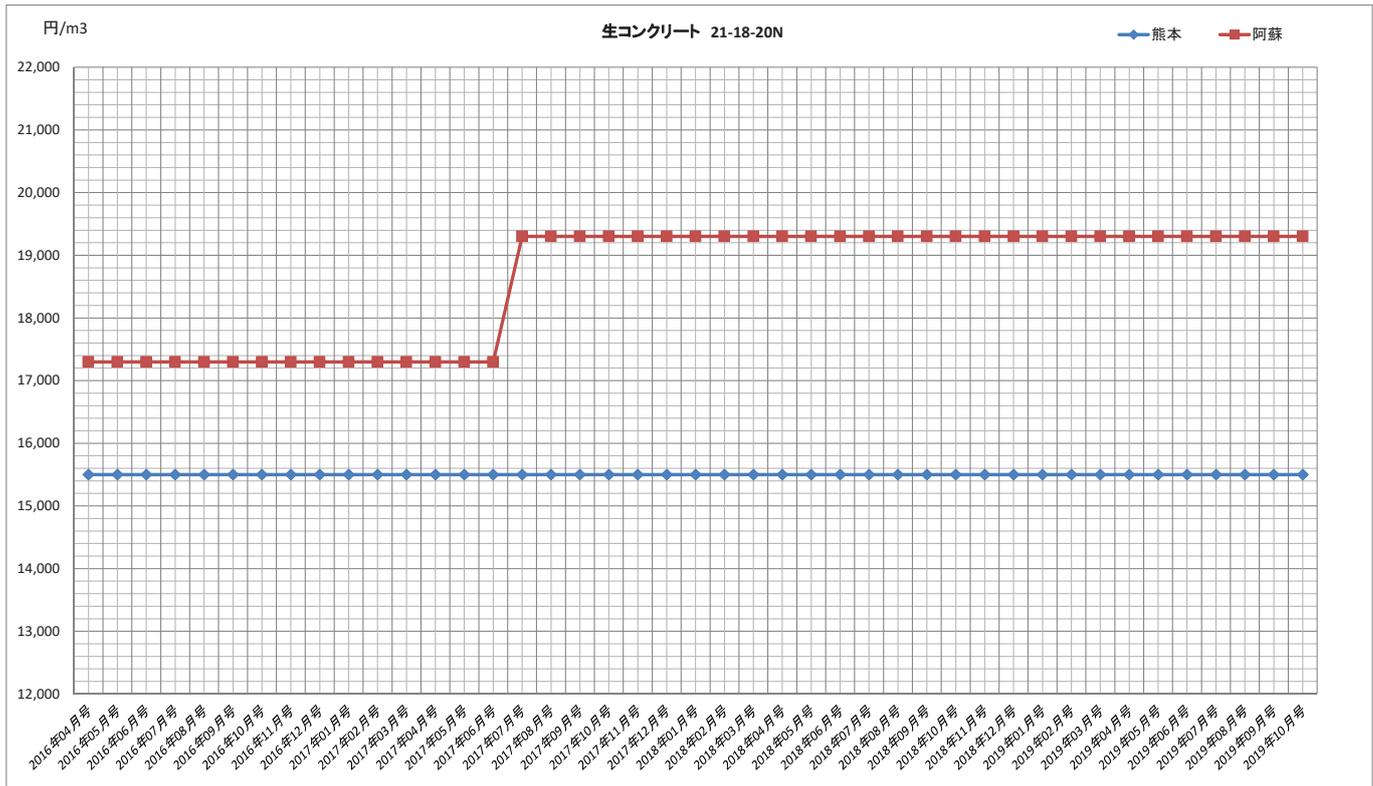
【特記】 需給動向は供給者側に確認し、直近1～2か月前と比較した結果である。

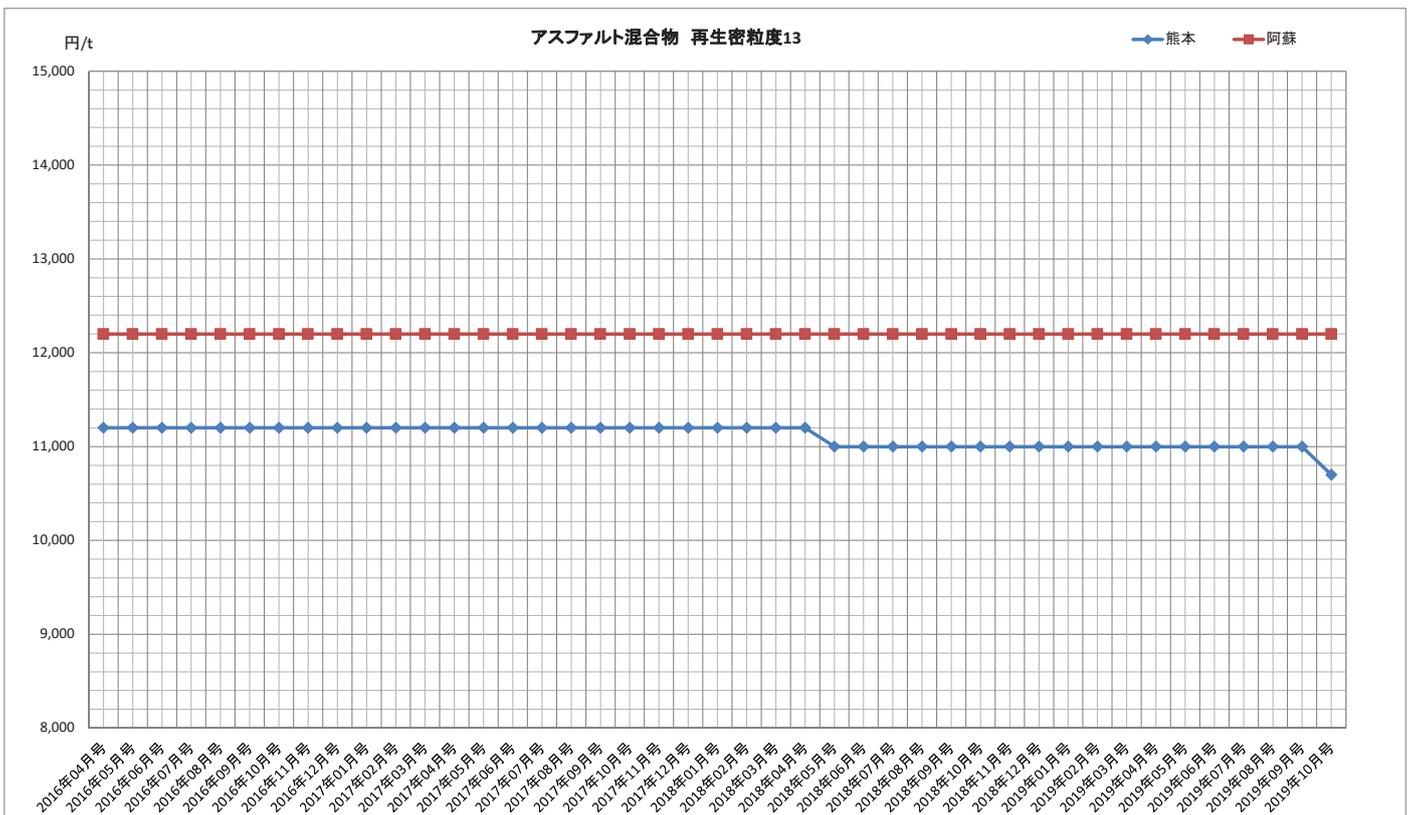
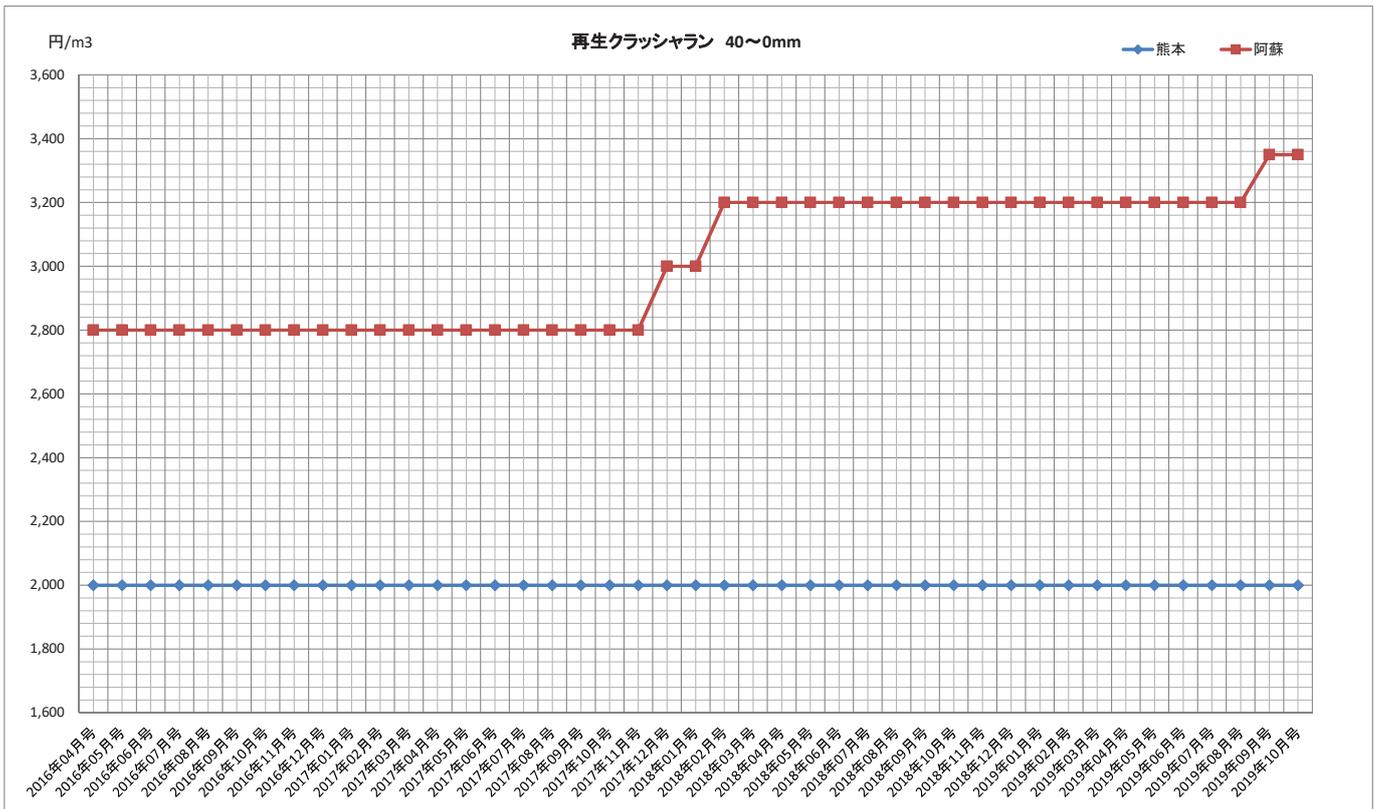
【2019年9月13日 現在】

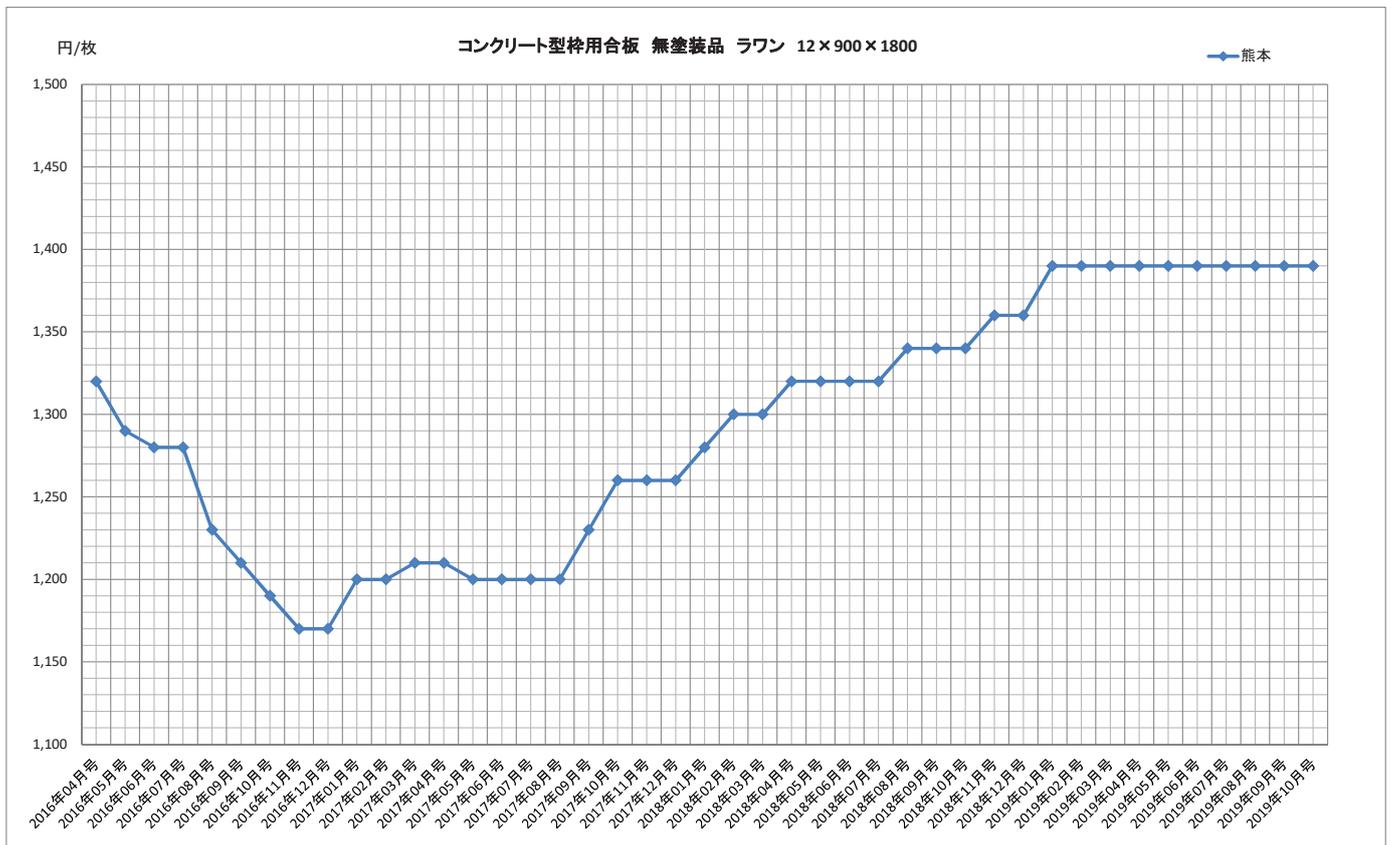
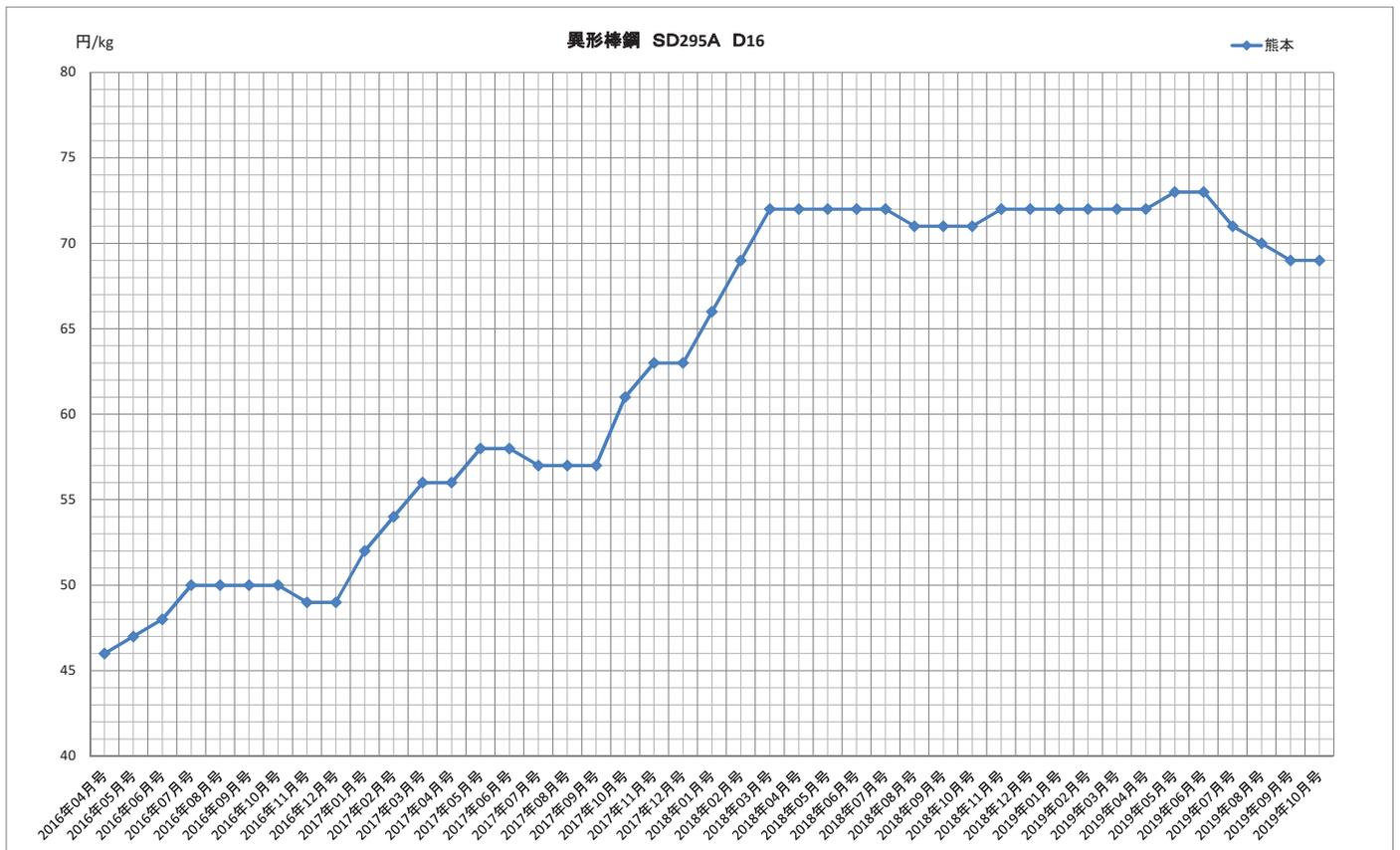
資材名 [掲載頁]	地区名	市場動向・概況	現在の需給	先行き	
				需給	価格見通し
土木工事市場単価 鉄筋工(手間のみ) [土木施工単価3~9]	熊本	価格は一般構造物でt当たり60,000円どころと、前季より横ばいで推移。工事は災害復旧関連工事を中心に依然として多く、専門工事業者側は慢性的な人手不足、稼働率の高さを背景に値上げを要請。しかし需要者側の抵抗は強く、市場浸透までには至っていない。今後も需給のバランスは同様の状況が続くと考えられ、先行き横ばいで推移する見通し。	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
建築工事市場単価 鉄筋工事(手間のみ) 建築施工単価 [市場単価10~13]	熊本	価格は、高止まりが続き、RCラーメン構造・階高3.5~4.0m程度・形状単純でt当たり56,000円どころと前回調査比横ばい。大型物件が竣工し、市内中小物件等を中心に堅調に推移しており、専門工事業者は一定の仕事量を確保している。先行き、大型再開発が控えることから、需要に期待する声が多い。横ばい推移。	均衡	均衡	横ばい
建築工事市場単価 型枠工事(材工共) 建築施工単価 [市場単価20~23]	熊本	価格は、普通合板型枠・ラーメン構造・地上部階高3.5~4.0mでm2当たり5,000円どころと前回調査比横ばい。市内商業施設向けや中小物件等の需要により市況は堅調に推移。今後、駅前再開発工事の本格化と共に、需給がタイト化する見込みだが、目先は横ばいで推移する模様。	均衡	均衡	横ばい

【特記】 需給動向は専門工事業者及び総合工事業者に確認し、直近3か月前と比較した結果である。

【主要資材の価格推移】







【工事市場単価の価格推移】

